

# 平成25年度

## 第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会

日時:平成25年5月16日(木)15時00分から

場所:栄区役所本館4階2号会議室

### 1 報告事項

セーフコミュニティ認証内定の記者発表資料及び内定通知 .....資料1

### 2 議題

(1)今後の取り組みについて .....資料2

(2)認証式及び国際フォーラムの開催概要(案)について .....資料3

(3)その他

## 栄区役所が、「セーフコミュニティ認証」の内定通知を受けました！（行政区では、全国初）

栄区では、地域コミュニティを生かした安全・安心の取組をさらなる飛躍につなげていくため、WHO協働センターが定める世界基準「セーフコミュニティ」の認証取得に向け、準備を進めてきました。本年 1 月には、最終の現地審査がありました。

審査の結果、「栄区の取組は、基準を満たしており、国際セーフコミュニティネットワークメンバーとして歓迎したい」旨の通知がありました。（3 月 29 日付け）

今後、認証式において調印を行い、正式に認証取得となります。

### 【参 考】

#### 1 セーフコミュニティとは

WHO協働センターでは、“事故やけがは原因を究明することで予防できる”という理念のもと、地域ぐるみで、安全・安心なまちづくりのための活動を、継続的に行っているまちを「セーフコミュニティ」として認証しています。認証にあたり、WHO協働センターでは、活動の定義やプログラム等について、7つの指針を定めています。（平成 25 年 3 月末現在、世界で 313 都市、日本で 6 つの都市が認証取得済）

#### 2 セーフコミュニティ認証内定までの経緯

平成 22 年 3 月 セーフコミュニティ国際会議（韓国スウォン市）において、活動の開始を表明  
平成 22 年 6～9 月 栄区セーフコミュニティ推進協議会及び 8 つの分野別分科会を設置  
平成 23 年 6 月 WHO協働センターによる中間審査実施  
平成 25 年 1 月 WHO協働センターによる本審査実施

#### 3 今後の予定について

認証取得にあたり、認証式を行います。認証式では、国際セーフコミュニティネットワークへの参加合意書への署名を行うとともに、セーフコミュニティ活動が栄区全体に広がっていくためのイベントを実施する方向で検討しています。

※ 正式には、合意書への署名がなされた時点で、セーフコミュニティ認証都市となります。

お問い合わせ先

栄区役所 総務課長 多田洋幸 Tel 045-894-8310



# Center for Community Safety Promotion



ONAKA Fujio  
Director  
Sakae Ward,  
Yokohama, Japan

CC: Yoko Shiraishi  
Chair of Affiliate Safe Community Support Center

Moa Sundstrom  
Coordinator  
WHO CC CSP

Re: The result of evaluation for Sakae Ward Safe Community accreditation  
Date: March 27, 2013

Dear Director ONAKA:

As a result of the evaluation for Sakae Ward Safe Community accreditation, which was performed by the Certifying Center for Safe Community at Ajou University School of Medicine in Suwon, Korea, I am very pleased to inform you that **Sakae Ward, City of Yokohama, Japan has been fulfilled satisfactorily 7 criteria as a member of the "International Safe Community Network"** which is coordinated by the World Health Organization Collaborating Center on Community Safety Promotion (Chaired by Professor Leif Svanstrom) in Karolinska Institutet, Stockholm, Sweden

The accreditation will become effective after signing on the "Agreement of Safe Community" between the Director of Sakae Ward, City of Yokohama and the Chair of the Certifying Center for Safe Community, Suwon, Korea. Regarding a designation signing ceremony, please contact Yoko Shiraishi, Chair of the Affiliate Support Center for a Safe Community in Japan.

On behalf of the International Safe Community Network, I would like to congratulate Sakae Ward on becoming a member of the Network. I am very looking forward to Sakae Ward's continuous contribution to global movement of Safe Community by sharing their experience with other communities, nationally and internationally.

I wish all the best of Sakae Ward Safe Community.

Sincerely yours,

Joonpil Cho  
Chair  
Certifying Center for Safe Communities  
Center for Community Safety Promotion  
Ajou University School of Medicine and Public Health  
Suwon 443-721, Korea

**Center for Community Safety Promotion**



---

**Postal address**

Ajou University School of Medicine,  
San 5, woncheon-dong, Yeongtong-gu, Suwon, 443-721

**Contact information**

Tel) +82-31-219-5286  
Fax) +82-31-219-4568

【翻訳版】

件名：栄区セーフコミュニティ認証審査の結果について

2013年3月27日

尾仲 富士夫 さま

セーフコミュニティ認証センター（韓国スウォン市にある亜州大学医学部）によって行われた栄区セーフコミュニティ認証審査の結果、日本横浜市栄区は、WHO 地域の安全向上協働センター（WHOCCCSP）（スウェーデン スtockホルム カロリンスカ研究所）が推進しているセーフコミュニティネットワークのメンバーとして7指標を満たしている旨、ご連絡差し上げることができ非常にうれしく思います。

今後については、栄区長とセーフコミュニティ認証センター（韓国スウォン市）センター長との間で合意書に署名がなされた時点で「認証セーフコミュニティ」となります。認証式については、日本におけるセーフコミュニティ支援センターのセンター長である白石陽子と連絡をとってください。

世界セーフコミュニティネットワークを代表して、貴市がネットワークのメンバーとなられますことをお喜び申し上げます。栄区が世界セーフコミュニティネットワークの一員となられますことを歓迎しますとともに、貴区のこれまでの安全なまちづくりに向けて取り組んでこられた経験を国内外で共有し、今後の世界的な SC 活動の発展に継続的に貢献していただけますことを期待しております。

貴区のますますのご発展をお祈りいたします。

チョウ・ジュンピル  
セーフコミュニティ認証センター  
アジョウ大学 医学部  
韓国 スウォン市  
以上  
平成 25 年 3 月 29 日

## 栄区セーフコミュニティ活動 今後の取り組みについて

次の3つの視点を持ち、セーフコミュニティ活動を推進します。

- ①ネットワークメンバーとしての国際交流
- ②栄区の安全・安心都市としての魅力発信につながるプロモーション活動
- ③認証取得をきっかけとした区民の盛り上がりと活動の広がり

### 1、認証式及び国際フォーラム（仮称）の開催

日時：2013年10月5日（土）、6日（日）の2日間で調整中

内容：（1日目）認証式（調印式）、記念講演、公演（音楽等）

（2日目）基調講演、パネルディスカッション、分科会

※詳細は資料3に記載

### 2、行動計画の着実な推進と取組分野の拡大

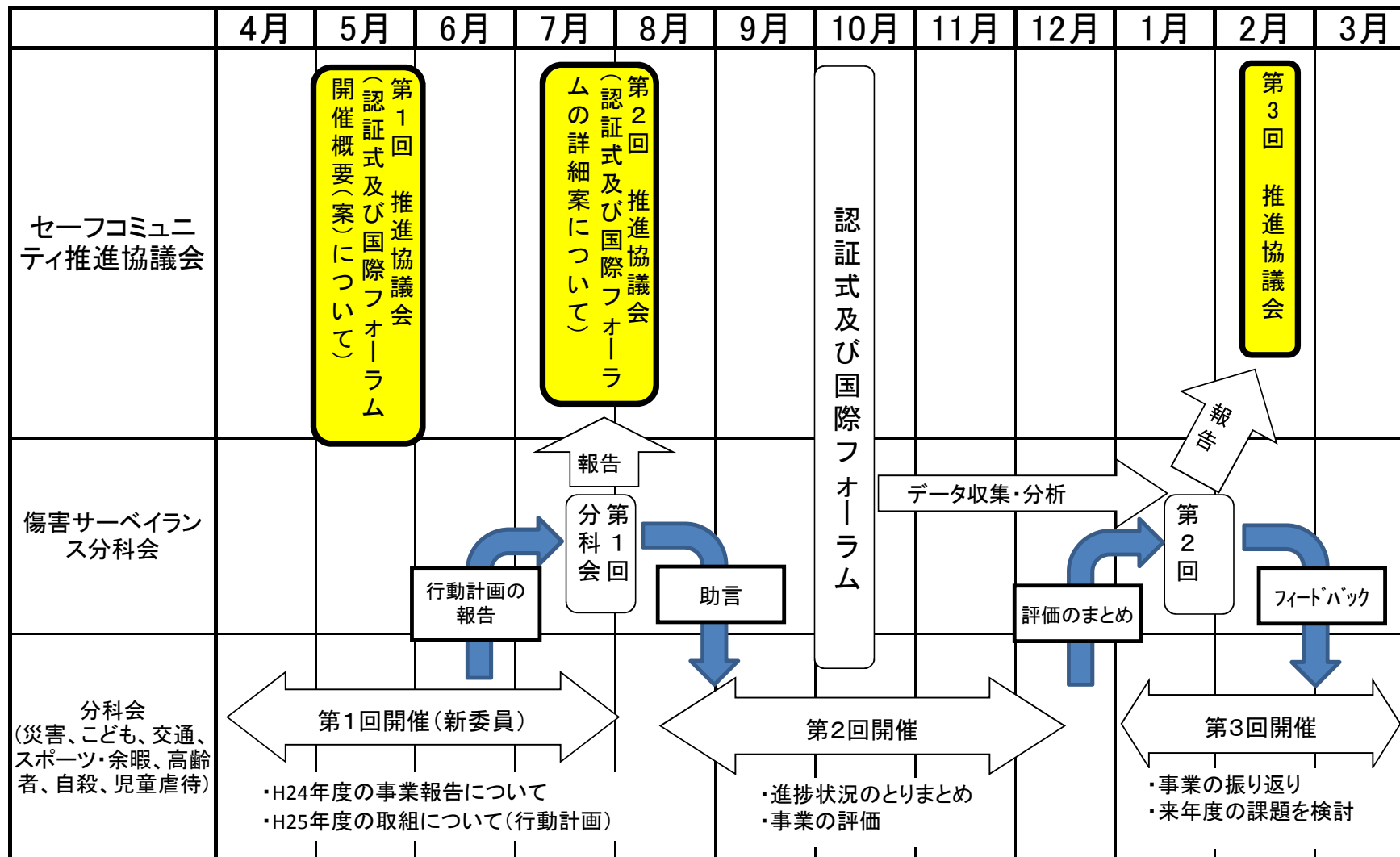
防災・安全・自殺対策等、7つの柱を課題とする「行動計画(H25年度～29年度)」に基づき、進捗状況や効果を検証しながら、取組を着実に推進します。

また、「健康づくり推進」や「女性の力の発揮」など、新たな分野に積極的に取り組みます。

### 3、プロモーション活動と世界への関心の広がり

セーフコミュニティ都市の区民であることへの自負や誇りを醸成するとともに、栄区の安全・安心都市としての魅力を区内外へ発信していきます。また、国際ネットワークメンバーとして、区民が世界へ関心を持つような取組を推進します。

# 平成25年度 栄区セーフコミュニティ年間スケジュール案



## 栄区セーフコミュニティ認証式及び国際フォーラム（仮称） 企画案

### 1 認証式

セーフコミュニティ国際ネットワークのメンバーに加盟する場として、WHO 審査員による記念講演や調印式、音楽公演を中心に構成し、認証取得を区民と祝う式典とします。

- (1) 日時：平成 25 年 10 月 5 日（土）
- (2) 会場：栄公会堂ホール（600 席）
- (3) プログラム
  - ・栄区長挨拶
  - ・認証記念講演
    - i) ル・パイ氏（台湾） アジア地域 S C 認証センター 公認コーディネーター
    - ii) チョウ・ジュンピル氏（韓国） アジア地域 S C 認証センター センター長
  - ・認証式（調印式）
  - ・音楽による記念公演（栄区出身の太鼓ドラマー：ヒダノ修一氏を予定）

### 2 国際フォーラム

将来に向け「安全安心のまち」栄区として、セーフコミュニティ活動のさらなる広がり  
と栄区のブランド力を高めていくための一歩にできるよう、国際フォーラムを開催します。

国際セーフコミュニティ都市として、区民が世界へ関心を持つような広がりのある内容とし、セーフコミュニティ推進協議会や分科会委員の皆様のほか、多くの区民の皆様にご参加いただけるプログラムを予定しています。

- (1) 日時：平成 25 年 10 月 6 日（日）
- (2) 会場：あーすぷらざ映像ホール（125 席）、リリース音楽ルーム（60 席）他
- (3) 全体テーマ：コミュニティにおける「女性力の発揮」と「こどもの安全」
- (4) プログラム
  - ・基調講演
  - ・パネルディスカッション
  - ・分科会（国内外で活動する団体・個人による事例発表・意見交換） 等

### 3 パネル展示

国内外で活動する NPO、NGO などが各自の取組をアピールする場を提供し、栄区の活動団体を含め、セーフコミュニティ認証都市の交流が活発に行われるようレイアウトを工夫します。

## 児童虐待防止の取組について

### ◆ 平成 25 年度児童虐待防止関係事業

#### (1) 区づくり事業「さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業」

育児不安の軽減や育児の孤立化予防として、地域で子育てを見守る土壌づくりを行い、地域住民全体で児童虐待防止の意識や感度を高めていくために、昨年度から引き続き実施します。

本事業は、主任児童委員会と地域子育て支援拠点、区社会福祉協議会と協働で進めています。

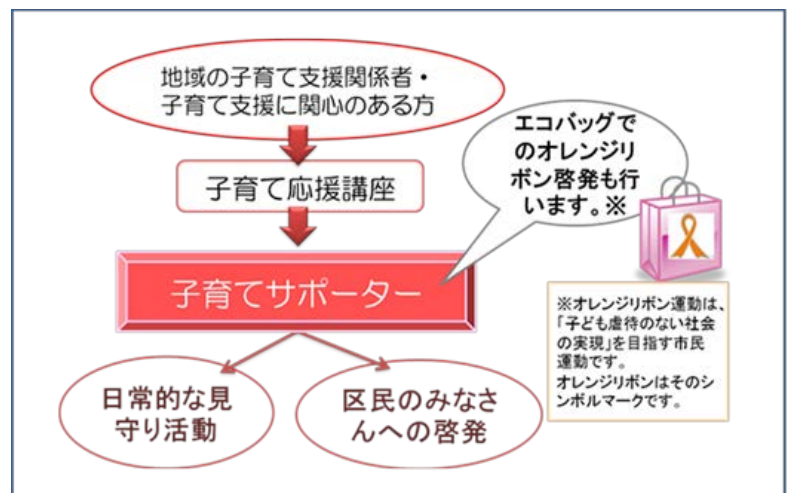
##### ○子育て応援講座の実施：

青少年指導員、区 P 連、スポーツ推進員、子ども会等へ働きかけを予定。

(1～2回)

##### ○子育てサポーターの交流会：

平成 24 年度の講座受講者による交流会を実施し、活動報告や、子育ての見守りのネットワークを広げるための交流会を実施。



#### (2) 児童虐待の未然防止

父親に向けた揺さぶられ症候群の予防啓発、母子訪問時にエジンバラ式産後うつ指標を使用し、育児支援の必要性を早期に把握し対応する等、未然防止に努めています。

#### (3) 地域への啓発

区民まつり・児童虐待防止月間での啓発、地域出前講座、子育てサポーターによる区民への啓発等

#### (4) 関係課、関係機関連携による取組

児童虐待リスクの高いケースは、経済的困窮や養育者の精神疾患、DV や育児不安、支援者の不在など、様々な要因が複合的にある場合が多いため、関係機関が連携してチームで関わります。

○庁内連携：毎週 1 回、こども家庭支援課、高齢・障害支援課、保護課の関係管理職等による養育支援ミーティングの継続実施

○庁内啓発：庁内各課への朝ミーティングを利用した講座の実施

○関係機関連携：学齢期の児童に関する学校との連携の充実・強化

保育所の職員を対象とした講座の実施、警察署・消防署との連携等



# 交通死亡事故が発生しました

平成 25 年 5 月 13 日  
交 通 特 報

5月6日(月)午後0時5分ころ、笠間1丁目の県道交差点で、横断歩道を横断中の歩行者(97歳男性)と、自転車が衝突し、歩行者の方が亡くなりました。

5月11日(土)午前11時10分ころ、中野町の県道交差点で、横断歩道を横断中の歩行者(80歳女性)と、対向から右折してきた乗用車(82歳男性が運転)が衝突し、歩行者の方が亡くなりました。



## 道路を横断する時は要注意!



- ・近くにある横断歩道を渡りましょう。
- ・青信号でも右・左折車の動きに注意して渡りましょう。
- ・駐車車両や渋滞中の車の間を渡るのはやめましょう。



この標識があるところは、横断禁止です。  
近くの横断歩道を利用しましょう。



## 高齢ドライバーの皆さんへ



更新時高齢者講習等を参考にし、安全運転に努めましょう。  
加齢に伴う心身機能の低下を自覚し、余裕のある運転をお願いします。  
体調が優れないとき、天候が悪いときは、無理をせず、外出を控えましょう。ご家族のご協力をお願いします。

運転の必要がなくなった方、運転に自信がない方、免許証を身分証明書のみにお使いの方など、運転経歴証明書の申請ができます。(有効な免許証に限ります)  
詳しくは裏面をご覧ください。

# 栄警察署交通課



ご存知ですか？

# 運転経歴証明書制度

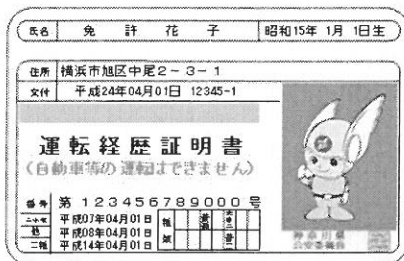
運転の必要がなくなった方、運転に自信がない方、免許証を身分証明書のみにお使いの方など・・・これを期に考えてみませんか？

免許の申請による取消し（自主返納）後、運転経歴証明書の申請ができます。

※免許の有効期間を経過（失効）した場合は、自主返納できません。

## 運転経歴証明書とは？

- どんなもの？ ➡ 免許の自主返納を行った日から、過去5年間の運転経歴を証明するものです。



- その効力は？ ➡ 新たな運転経歴証明書は、金融機関等での本人確認書類として有効なものと定められました。
- 何か特典は？ ➡ 運転経歴証明書を提示することにより、「神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会」の加盟企業等から特典を受けることができます。

## こんなときは？

- 住所等が変わった。 ➡ 記載事項の変更届出をしてください。
- 運転経歴証明書を紛失等した。 ➡ 再交付申請ができます。
- 改正前の旧運転経歴証明書を持っている。  
➡ 新たな運転経歴証明書に切り替えることができます。

詳しくは、各警察署の免許窓口又は下記にお問い合わせいただくか、神奈川県警察ホームページをご覧ください。



## <問い合わせ先>

神奈川県警察本部交通部運転免許本部 045-365-3111 (代表)

神奈川県警察ホームページ <http://www.police.pref.kanagawa.jp/>

最寄りの警察署交通課(月～金 8:30～12:00 13:00～17:15)

## 介護予防及び孤立予防対策について

### 1 介護予防事業

高齢化が急速に進む中で、要介護状態にならず地域で自立した生活を送るために、住民の自主的・継続的な介護予防活動を支援していきます。

- (1) 介護予防の普及啓発を行う講演会を開催します  
口腔ケア・認知症予防・膝痛予防
- (2) 講演会を受けての連続講座を開催します  
ノルディックウォーク教室・口腔機能アップ講座・膝痛体操教室実
- (3) 元気づくりステーション  
H24年度 4か所（3包括エリア）立上げ  
H25年度 新たに3か所の立上げ予定

### 2 孤立予防事業

高齢化が進むと同時に高齢者の単身世帯や高齢夫婦世帯が急増している状況の中、見守り活動を行う地域・NPOとの連携により孤立予防の取組を進め孤立死をなくします。

- (1) 配食サービスを行う団体による見守り活動を支援します。
- (2) 区役所に看護師を配置し、関わりを拒否するなど地域との繋がりが希薄な高齢者・障害者などの要援護者宅を訪問します。
  - ・区内の高齢者サロンを訪問し地域の情報収集を行います。
  - ・介護保険審査で非該当者及び介護保険の申請に至らなかった方への訪問を実施し状況を確認します。
  - ・民生委員や包括支援センターと連携し、引きこもりがちな高齢者・障害者宅を訪問します。
- (3) 地域ぐるみで見守り活動を広げていくために、ライフライン事業者、地域の関係団体や商店等に見守りの協力を呼びかけていきます。



## 栄区防災計画について

### 1 現在までの取り組み状況

#### (1) 栄区防災計画の一部運用開始について

栄区災害対策本部体制、区役所職員の動員体制及び地域防災拠点の開設基準については、横浜市防災計画を準用し、4月1日より運用しています。

#### (2) これまで実施した意見交換会等

- ・ 3月19日（火）防災講演会
- ・ 4月11日（木）地区連合町内会長
- ・ 4月16日（火）地域防災拠点運営委員会連絡協議会での意見交換
- ・ 4月20日（土）防災ボランティアネットワークとの意見交換
- ・ 4月22日（月）区連会にて資料配布
- ・ 4月27・28日 各地区広報部会で資料配布

### 2 今後のスケジュール

#### (1) 地区連合町内会ごとの説明会（計7回）

地区	日時	場所
豊田	5月25日（土）10:30～	豊田地区センター
笠間	5月25日（土）9:00～	笠間ゆうわ館
小菅ヶ谷	5月26日（日）11:00～	小菅ヶ谷スポーツ広場球技棟
本郷中央	6月3日（月）13:30～	桂台地域ケアプラザ
本郷第三	6月29日（土）14:00～	本郷小学校コミュニティハウス
上郷西	5月18日（土）13:30～	野七里地域ケアプラザ
上郷東	5月26日（日）14:00～	庄戸中学校コミュニティハウス

#### (2) 全体スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
意見交換会実施期間			7月 素案完成	区民意見募集	10月 運用開始	
素案作成作業						

### 3 今後の課題

- (1) 災害医療体制について
- (2) 帰宅困難者対策
- (3) ボランティアの受入態勢
- (4) 企業との連携
- (5) 情報受伝達

# 《参考》

## 説明会での主な説明項目

- 「栄区防災計画」について
- 栄区の被害想定
- 栄区の現状
- 策定のポイント
- 計画策定にあたっての基本的な考え方
- 自助・共助の取組
- 避難所のあり方・運営
  - ・避難所のあり方
  - ・地域防災拠点の役割
  - ・避難所の種別と役割
  - ・避難所の運用方法
  - ・避難所の配置
  - ・地域防災拠点に区割り
  - ・地域防災拠点の開設の考え方
  - ・避難所運営の考え方
  - ・避難所の運営（女性や高齢者への配慮）
  - ・ 〃 （ペットの受け入れ）
  - ・ 〃 （トイレの開設）
  - ・ 〃 （備蓄の見直し）
  - ・地域防災拠点での情報収集
  - ・区役所に配備されている情報受伝達ツール
- 災害情報の提供
- 要援護者支援の取組
- 特別避難場所について
- ボランティアの受け入れ体制
- これからの防災訓練
- 栄区役所の対応
- 今後の検討課題